

健康ボランティアにおけるオメガ-3脂肪酸(魚油)とうつ病関連の認知 3/12**評価尺度**

面接および自己報告による尺度 精神疾患簡易構造化面接法の増補版(M.I.N.I. PLUS; SheehanとLecrubier, 2006)を使用し、現在および生涯のDSM-IV診断を評価した。Beckうつ評価尺度-II (BDI-II; Beckら, 1988; Van der Does, 2002b)を使用し、過去2週間におけるうつ症状を評価した。先週の気分状態は気分状態プロファイル(POMS)短縮版(McNairら, 1971; WaldとMellenbergh, 1990)により評価した。サブスケールは悲嘆、怒り、疲労、緊張、活力である。性格特性は行動抑制系/行動賦活系(BIS/BAS)スケール(CarverとWhite, 1994)を用いて評価した。BISは罰、非報酬、新奇性のシグナルに鋭敏で、BASには駆動、刺激探究、報酬反応性の3つのサブスケールがある。最終的に、認知反応性は改訂Leiden抑うつ感受性尺度(LEIDS-R; Van der Does, 2002a; Van der DoesとWilliams, 2003)により評価した。サブスケールは絶望/自殺念慮(HOP); 受容/コーピング(ACC); 攻撃性(AGG); コントロール/完全主義(CTR); 危険回避(RAV)と熟考(RUM)である。これらスケールはうつ病未罹患者と回復したうつ病患者とを識別でき(Van der Does, 2002a; Merensら, 2005)、セロトニンチャレンジへの反応を予測するものであることがわかっている(BooijとVan der Does, 2007)。

中間的・感情的情報処理テスト

16刺激の8つのブロックから構成される感情的Go/No-Go課題を使用した。各ブロックにおいて、刺激間隔1200msとして一単語が提示された。半分の刺激がポジティブ語(例、楽しい、きれい)で、半分がネガティブ語(例、悲しい、罪深い)であった。各ブロックにおいて、ポジティブ(P)もしくはネガティブ(N)語のいずれかを「ターゲット」とした。ブロックはNNPPNNPPもしくはPPNNPPNNの順に提示された。この配列のため、3ブロックは「シフト」ブロックであり、ここで参加者は、先行するブロックにおいてターゲットであった刺激への応答を保留しなければならず、4つのブロックは「非シフト」ブロックであった。さらに、文字と数字をターゲットとして使用する以外は、感情的Go/No-Go課題とパラメータが同一の注意的Go/No-Go課題も使用した。

表情認識課題は、顔表情写真シリーズ(EkmanとFriesen, 1976)から選んだ5つの基本感情(幸せ、悲嘆、恐れ、怒り、嫌悪)からなる。これら写真の男女例を各原型と中間の間に10%ずつ変化させた。各感情の4回の試行を各強度レベルで提示した。これらの刺激をランダムに順番で500ms間提示し、白紙のスクリーンで置き換えた。参加者らは、できるだけ速く正確に応答するよう求められた。

15語テストを使用し、記憶能力を評価した(SaanとDeelman, 1986)。15の無関係な中間的単語のリストをテープから提示した。2回連続して提示し、提示のたびに即時想起を調べた。参加者らは非言語課題を続け、20分後に遅延想起を調べた。各セッションでは同等のバージョンをランダムに抽出された順番で使用した。即時想起は、2回目の試行における正確な単語の総数と定義した; 遅延想起時における正確な単語数を固定とし、2回目の試行と比較した。

意思決定(ギャンブル)課題は、各種異なる重み付けを行った不測事態における意思決定行動を評価し、さらに危険志向行動と危険回避行動とを識別するものである。過去にRogersら(2003)により詳細に記述されている。各試行において、参加者らは2つの同時に提示されたギャンブルのうちどちらかを選択するよう求められた。各ギャンブルは視覚的にヒストグラムにより再度提示され、各々の高さは一定の点数を獲得できる確率を示すものであった(図1A参照)。生じうる利益はヒストグラム上部に緑インクで示され、生じうる損失はヒストグラム下部に赤インクで示された。1ギャンブル(黄色)は常に対照ギャンブルであり、10点勝つ確率が0.50、10点負ける確率が0.50(期待値が0)のものであった。他方の「実験」ギャンブル(青色)は、勝つ確率が高いもしくは低い(0.60か0.40)、生じうる利益が大きい小さい(70か30点)、生じうる損失が大きい小さい(70か30点)という点で変動した。これらの変数を組み合わせ、「実験」ギャンブルの期待値が-20~+20となる8つの試行タイプを作成した。対照および「実験」ギャンブルはランダムに左もしくは右に現れた。参加者らはキーを押すことにより選択を行った。依存性評価尺度は、勝つ確率という機能として対照ギャンブルよりも「実験」ギャンブルを選択した比率、生じうる利益のサイズと生じうる損失サイズ、これら選択に対する平均熟考時間(ms)とした。

Product on the Paper

DEPA

品 番：7980-100
価 格：3,045円(税込み)
内 容 量：100粒入り/1日1粒/100日分

コレステロール、動脈硬化対策

DHAは、オメガ-3系の多価不飽和脂肪酸で、植物油などα-リノレン酸を含む食品を摂取すると、体のなかでEPAを経て合成されます。また、EPAと同様に魚の脂肪に多く含まれており、供給源として期待されるのはいわしやマグロなどの脂肪の多い魚です。EPA(エイコタペンタエン酸)もオメガ-3系の多価不飽和脂肪酸で、食品から摂らなければ人間の体内ではつくることができません。植物油などα-リノレン酸を含む食品を摂取することで体内でEPAに変わります。そのほかに魚の脂肪に多く含まれ、EPAとしての主な供給源はハマチ、サンマ、イワシ、マグロなど脂肪の多い魚です。EPAは、魚やアザラシを主食とするエスキモーたちに多く存在していることが注目され、医学的研究が始まりました。

主成分含有量 (1ソフトカプセルあたり)	
成分名	含有量
魚油抽出物 (以下の成分を含む)	1,000 mg
ドコサヘキサエン酸(DHA)	180 mg
エイコサペンタエン酸(EPA)	120 mg
オメガ3脂肪酸	300 mg
ビタミンE	0.67 mg



QÜELL FISH OIL™ EPA/DHA Plus D キューエル フィッシュオイル™ EPA/DHA プラスビタミンD

品 番：200981-30
価 格：5,460円(税込み)
内 容 量：30粒入り/1日1粒/30日分

高純度のEPA、DHAにビタミンDを配合

【キューエルフィッシュオイル™】は、超臨界炭酸ガス抽出法を用いた特殊製法により脂肪酸の割合を75%以上まで高めた、純度の高いオメガ-3脂肪酸のフォーミュラです。オメガ-3脂肪酸は、心血管をはじめ神経、視覚、関節など様々な部分で健康維持を助けることが明らかになっており、世界中の多数の保健機関が摂取量の増加を推奨しています。脂溶性であるビタミンDを併せて摂取することで、ビタミンDの吸収を高めるだけでなく、体内の炎症による様々な疾患に相乗的に作用します。

主成分含有量 (1ソフトカプセルあたり)	
成分名	含有量
ビタミンD	25 µg
魚油抽出物 (以下の成分を含む)	1,250 mg
エイコサペンタエン酸(EPA)	600 mg
ドコサヘキサエン酸(DHA)	400 mg



Order Made Supplement Service

分包による
オーダーメイド
サプリメント
サービス！



- 患者様に合わせた指示箋ができる、オーダーメイド分包サービスです。患者様の満足度がより高くなります。
- 在庫負担がありません。
- 商品のお届けは、クリニック様お届けと患者様直送からお選び頂けます。
- ラベルデザインや容器も色々お選び頂けます。



編集後記

ダグラスニュースレターをお読みいただき誠にありがとうございました。これからも最新の臨床データ、商品情報などを正確に、また、迅速にご提供してまいります。どちら様もご意見・ご希望がございましたら編集者までお寄せください。

無断転載・転用は固くお断りいたします。

発行者：
〒135-0091 東京都港区台場2-3-2
日本ダグラスラボラトリーズ株式会社
TEL: 03-5530-2212